

施策評価管理シート

2015(平成27)年7月作成

担当部局名	部長名	連絡先 (担当室名)
産業部	荻田 敏文	63-7648 (観光交流室)

施策体系	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本施策	5	都市産業の振興
	施策	2	観光

1. 施策の基本方針

Plan

- ・観光客のニーズに添った多彩なメニューを整備し、市域全体を魅力ある楽しい観光のまちとして集客の促進を図ります。
- ・集客交流のための機能を整備して、新しい都市観光を創出します。
- ・広域観光ネットワークを活用し、一体的な観光客誘致戦略のもと積極的な情報発信を行い、広がりのある広域的観光ゾーンの形成を目指します。

2. 目標

○重点目標

Plan

- 魅力ある観光地づくり
 - ・エコツーリズム推進法に基づく認定を目指して取り組むとともに、エコツアーの充実など、エコツーリズム推進の取組を進めます。
 - ・市内にある観光施設について、施設に応じた適切な維持管理を行うことで、利便性を高め、観光地の魅力向上に努めます。
- 集客交流機能の向上
 - ・名張市観光戦略を策定し、総合的展望に立った戦略のもと、観光を取り巻く環境の変化に対応しながら、観光振興を図ります。
 - ・名張市観光協会をはじめ、民間活力を活用し、情報発信機能や集客交流機能の向上を図ります。
- 広域観光戦略
 - ・東大和西三重観光連盟等の近隣市村と観光連携を強化し、相乗効果による観光誘客・情報発信を行います。
 - ・三重県全体の観光資源でもある伊賀流忍者を国内外に広く情報発信することにより、名張市及び伊賀地域への集客を進めます。

○目標達成に向けた課題

Plan

- 魅力ある観光地づくり
 - ・エコツーリズム全体構想の認定申請に向け市民の理解を深めるとともに、実践のための体制づくりが必要です。
 - ・老朽化が進む観光施設が多く、適切な維持修繕に努めるとともに、効率的な施設管理が必要です。
- 集客交流機能の向上
 - ・観光協会の運営基盤の強化に向け、事業の見直しを検討する必要があります。
 - ・赤目四十八滝の観光入込客数は減少傾向にあり、赤目四十八滝渓谷保勝会との連携強化や、観光キャンペーンの強化に取り組む必要があります。
- 広域観光戦略
 - ・広域的な情報発信機能の強化に向け、東大和西三重地域だけでなく、県や地域の団体と連携した取組や、情報発信の強化が必要です。
 - ・伊賀流忍者観光推進に向けて、三重県、伊賀市等との連携を深め、一層積極的に取組を進める必要があります。

<行政評価委員会からの意見>

意見なし

○施策指標 (目標) 及び達成状況

Plan

Do

施策指標 (目標) の内容 (単位)		現状値 (H20)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	進捗率
観光入込客数 (市全体) (人) (平成24年度以降は全国観光統計基準に基づく)	目標	-	-	480,000	-	-	482,000	100%
	成果	297,000	331,554	936,996	1,248,622	1,125,133		
観光入込客数 (赤目滝) (人)	目標	-	-	260,000	-	-	265,000	0%
	成果	193,000	145,613	167,466	164,340	161,241		

観光協会ホームページへの1日平均アクセス件数 (件)	目標	-	-	440	-	-	670	3%
	成果	410	350	385	363	417		
東大和西三重観光連盟ホームページへの1日平均アクセス件数 (件)	目標	-	-	25	-	-	28	100%
	成果	20	20	20	50	31		
名張市の物産や観光地が全国に向けてPR (情報発信) されていると感じる市民の割合 (%)	目標	-	-	-	-	-	30.0	47%
	成果	-	23.2	26.6	30.2	26.4		

3. 取組内容

○課題解決への取組内容

Do

○魅力ある観光地づくり

- ・エコツーリズムの推進については、平成26年7月に全体構想の認定を受けるなど、エコツーリズム推進法に基づく取組を進めました。
- ・観光施設の管理については、老朽化した施設の適切な修繕に努めるとともに、指定管理者制度の活用などにより、効率的な管理ができました。

○集客交流機能の向上

- ・平成26年10月に名張市観光戦略を策定し、総合的展望に立った戦略に基づき観光振興の取組を進めました。
- ・名張市観光協会や赤目四十八滝渓谷保勝会と連携し、市内外のイベントや観光キャンペーンの実施や市の魅力について情報発信を行いました。

○広域観光戦略

- ・東大和西三重観光連盟では、前年度に引き続き、「美し国おこし・三重」事業と連携した事業展開により、「元伊勢」をめぐる観光ルートの創出に取り組みました。また、「室生・赤目・伊賀上野」エリアで開催された近鉄エリアキャンペーンに参画し、集客を図りました。
- ・伊賀流忍者推進協議会では、伊賀流忍者のロゴマークを活用した商品の開発を進めるとともに、関西圏等でPRイベントを実施しました。また、伊賀流忍者を国外に発信するためのツールとして伊賀流忍者を題材としたDVDを作成しました。
- ・三重県観光キャンペーン推進協議会では、伊賀流忍者などのコンテンツを用いながら伊賀地域の周遊を促進するPRを行いました。

<行政評価委員会からの意見に対する取組内容>

意見なし

○地域等との連携、協働に向けた取組

Do

- ・総合計画に掲げるそれぞれの取組で、観光関係団体や地域と連携し、環境整備、新たな観光メニューの開発、情報発信を進めることができました。
- ・エコツーリズム及び観光戦略の推進において、地域づくり組織の代表者が推進協議会委員として協議に参画しました。
- ・東大和西三重観光連盟事業において、地域会員だけでなく「美し国おこし・三重」事業に関わる市民活動団体と協働して事業を展開できました。

4. 施策達成のための事務事業及び評価

(合計 11 事業)

Do

Check

事務事業 シート 番号	事業名・担当室名		事業費 (単位：千円)			担当室による評価			部局による評価	
			2013 (H25)	2014 (H26)	事務事業の 施策への 貢献	地域づくり組 織等との連 携・協働	事務事業シ ートでの 今後の方 向	施策達成 への 貢献度	施策達成 への 重要度	
										2013 (H25)
1115	観光振興対策費	観光交流室	8,676	10,754	B	実践している	H26完了	B	-	
1182	エコツーリズム推進事業	観光交流室	116	57	B	実践している	H26完了	B	-	
1262	観光戦略推進事業	観光交流室	111	2,556	A	検討している、今後可能性がある	継続(拡大)	A	A	
1263	世界に誇る伊賀流忍者活用事業	観光交流室	1,284	1,199	B	検討している、今後可能性がある	H26完了	B	-	
1359	観光商品開発事業	観光交流室	-	3,326	B	該当しない	H27完了予定	C	B	
3062	内水面資源観光活用事業補助金	観光交流室	2,585	2,585	B	実践している	継続(現行)	B	B	
3063	名張夏まつり事業補助金	観光交流室	2,100	2,400	B	実践している	継続(改善)	B	B	
3064	名張市観光協会補助金	観光交流室	6,500	6,500	B	実践している	継続(改善)	B	B	

5019	キャンプ場管理費	観光交流室	2,851	2,750	B	実践している	H26完了	B	—
5020	観光施設管理費	観光交流室	7,450	10,475	B	実践している	継続(改善)	B	A
6085	広域観光事業	観光交流室	250	250	A	実践している	継続(拡大)	A	A
合計(単位:千円)			31,923	42,852					
小計(うち、一般会計分)			31,923	42,852					
小計(うち、特別会計・企業会計・組合会計分)			0	0					

5. 部局による施策評価

Check

評価

計画どおり事業推進

成果・評価理由

- ・エコツーリズム全体構想の国による認定や観光戦略の策定、更には観光戦略に基づく観光市場調査の実施や、旅行商品企画コンテストの開催などの事業を実施し、平成27年度以降の取組につなげることができました。
- ・観光協会等の関係機関と連携して観光案内や情報発信に取り組み、また近隣市村や県、地域会員や市民団体と協働で東大和西三重圏域や伊賀圏域の広域事業に取り組みました。
- ・組織・機構見直し方針に基づき、公園の管理業務の一元化に向けて取り組み、青蓮寺湖周辺公園及び長瀬公園施設について、都市整備部への移管を行いました。

6. 今後の施策の方向性、改善方法

Action

- ・名張市観光戦略に基づき、様々な事業主体と連携し「『訪れてよし』『住んでよし』『招いてよし』の観光都市名張」を目指した取組を進め、減少傾向にある入込客数の増加を図ります。
- ・エコツーリズムなどのニューツーリズムの取組を推進するとともに、地域に根ざした観光資源を磨きあげ、メディアや観光展などを通じて、積極的に情報発信していきます。
- ・外国でも知名度のある「忍者」などの名張市が有する日本らしい観光資源を、外国語ホームページや外国語パンフレットなどのツールを活用し情報発信するとともに、各種団体や事業者と連携し外国人観光客へのホスピタリティ(おもてなし)向上を図る等により、外国人観光客の誘客を図ります。
- ・学生等を対象とした旅行商品コンテストや女性観光プロモーションチームにより、今までとは異なる視点からの観光戦略の推進に取り組み、新規顧客の誘客を図ります。
- ・市民への情報提供や市民向け観光ツアーの充実に努め、市民や本市出身者の人的ネットワークを通じた魅力発信を図るとともに、観光ボランティアの育成により、市民と一体になった観光情報発信に努めます。
- ・東大和西三重観光連盟等の行政広域連携や観光協会等観光関連団体との連携、近畿日本鉄道等事業者との連携により、新たな観光資源の掘り起こしや情報発信力の向上を図ります。
- ・赤目キャンプ場をはじめ、所管する観光関連施設について、今後の在り方も含め活用の方策を検討していきます。